

第42回



うつのみやこども賞だより

令和7（2025）年度 決定号

決定！第42回 うつのみやこども賞

まほう しょ
『アーリーチェと魔法の書』

長谷川 まりる／著 松井 あやか／絵（静山社）



【あらすじ】

ある町のふつうの本屋の娘アーリーチェ。この店には秘密があった。夜になると、店の奥にある、世界にたった1冊しかない“魔法の書”を読むために、魔法使いが集まるのだ。そして13歳の誕生日、アーリーチェはこの“魔法の書”を守る「守り手」を引き継ぐことに・・・。

～ 選定委員の感想より ～

- アーリーチェがさまざまな人とかかわって、自分の役目、魔法のすばらしさに気づいて、自分のやるべきことを見つけたのがよかった。
- 物語自体は長いけれど、そのかわり自分たちが物語の中に入っているような感じがした。
- アーリーチェが責任感を持ち、守り手をやるところが、とてもかっこよかった。
- 古いおきてを守ることは大事だけれど、新しい考えをとりいれて「変えていく」のも大事ということが書かれた本なのだったと思った。
- 読んでいくにつれて、どんどん物語にのめりこんでいく感じがよかったです。

令和8年3月1日

読めば愉快だ
宇都宮市立図書館
UTSUNOMIYA CITY LIBRARY

1年間に読んだ図書一覧

実施回数	タイトル	著者	出版社
第1回	しじんのゆうびんやさん	斉藤 倫	偕成社
	復活！まぼろしの小瀬菜だいこん	野泉 マヤ	文研出版
	だるまさんがころんで	林 けんじろう	岩崎書店
	○ 王様のキャリー	まひる	講談社
第2回	風花、推してまいる！	黒川 裕子	岩崎書店
	朝読みのライスおばさん	長江 優子	理論社
	○ 呼人は旅をする	長谷川 まりる	偕成社
	森と、母と、わたしの一週間	八束 澄	ポプラ社
第3回	わたしと話したくないあの子	朝比奈 容子	講談社
	フルイコいねが	安東 みさえ	講談社
	あの空にとどけ	熊谷 千世子	文研出版
	○ きさらぎさんちは今日もお天気	古都 こいと	Gakken
第4回	○ 引きこもり姉ちゃんのアルゴリズム推理	井上 真偽	朝日新聞出版
	キャロットパトン	こまつ あやか	毎日新聞出版
	ハルカの世界	小森 香折	BL出版
	ミハイルのハーモニカ	高橋 良子	文研出版
第5回	ぼくへのレファレンス	岩崎 まさえ	国土社
	この手はいつか	中山 聖子	文研出版
	○ アリゲーターガーは、月を見る	山本 悦子	理論社
	白い虹を投げる	吉野 万理子	Gakken
第6回	Q世代塾の問題児たち	石川 宏千花	理論社
	ぼくに友だちがいない理由	小林 史人	さ・え・ら書房
	★ アーリーチェと魔法の書	長谷川 まりる	静山社
	あたたかな手 なのはな整骨院物語	濱野 京子	偕成社
第7回	○ 中受 12歳の交差点	工藤 純子	講談社
	花の子どもたち	小手鞠 るい	フレーベル館
	ミクとオレらの秘密基地	真栄田 ウメ	岩崎書店
	まるみかん大一番	まはら 三桃	小学館
第8回	○ 消えゆく街の秘密の友だち	鯨井 あめ	PHP研究所
	読書感想文が終わらない！	額賀 滯	ポプラ社
	星の花	濱野 京子	静山社
	不完全宣言	林 けんじろう	PHP研究所
第9回	図書だよりとひみつのノート	赤羽 じゅんこ	さ・え・ら書房
	リヒト！	イノウエ ミホコ	文研出版
	千年先のあなたへ	佐藤 まどか	BL出版
	○ ぼくのシェフ	長谷川 まりる	くもん出版
第10回	双子のピアノ	倉本 由布	アリス館
	○ みんなの居場所	白矢 三恵	文研出版
	ポジション！	高田 由紀子	岩崎書店
	花に風	吉野 万理子	理論社

○のついている本は「月の本」です（その月に読んだ本の中で一番面白かった本）

うつのみやこども賞とは？

市内の小学5・6年生の選定委員たちが、月に4冊、年間40冊の本を読んで、“一番友だちにすすめたい本”に「うつのみやこども賞」を贈っています。今年度は、30名の子ども達が選定委員として頑張ってくれました。みなさんもぜひ読んでみてください。